

# 繋 谷地南部っ子

令和7年度 学校便り  
R 8. 3. 13  
NO 30  
校長 秋場 一憲



経営キーワード「言葉（言葉遣い・言語力）」・自立（自ら判断実践・協働的解決・新たな課題追究）」

## みんなで創り上げた、心温まる6年生を送る会

～ 6年生の皆さん、ありがとうございました！！ ～

2月26日（木）に5年生が中心となり、6年生を送る会を行いました。各学年の子供たちも6年生の案内や6年生へのプレゼント贈呈、会場装飾などを担いみんなで創り上げた会となりました。過日の児童会冬まつりで子供たちが発表した「学年の枠を超えみんなが仲良し」そして「みんなが笑顔」という本校の良さを、会の中で改めて確認することができました。もうすぐ訪れる6年生との別れの日まで、さらに大切な思い出をたくさん作って欲しいと思います。



6年生に贈った色紙をみんなで読み合う



2つのゲームで盛り上がる



6年生からの手紙

## 次代を担う教員として、人間力を磨いて欲しい

9月に続き、2月の約1ヶ月間、東北文教大学1年生の秋場悠聖さんと、新たに工藤妃奈さんの2名がスクールサポーターとしてお手伝いくださいました。2名とも子供たちと関わる視点や課題意識を明確に持ち、丁寧に支援する姿に感心しました。また、校長より教員という職業の魅力と重責、大学生活で人間力を磨くことなどを伝えました。本校の卒業生2名が、近い将来教員となり堂々と教壇に立つことを心から期待しています。



私を見かけると、いつも声をかけてくれることが嬉しく休み時間等にたくさん話したり遊んだりして、楽しく過ごすことができた。授業中に担任が子供たちのできているところに目を向け、褒めながら関わっている姿が印象に残った。 **秋場悠聖さん**



とても明るく元気な子供が多く、一人一人が自分の考えを持って発言したり行動したりしていたところに感心した。私自身は、子供たちにやる気を出させるための声かけとポジティブに明るく褒めることを心がけた。 **工藤妃奈さん**